



福岡和白病院 | 広報誌

いのち、痛みに全力

地域医療により大きく貢献!!

VOL. 49
2021 / Nov

CONTENTS

- 低侵襲ロボット支援手術 ダヴィンチ
- 第2回 当院のがん診療について
- 認定看護師活動紹介 療養環境部門
- 第31回 日本心疾患インターベンション治療学会

- 食欲の秋! 季節を感じてリハビリの活かに
- 緩和ケア研修会
- 合同学術研究発表会
- 医療連携医紹介



基本理念 | 手には技術、頭には知識、患者様には愛を

基本方針 | 高度医療 学問的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

チーム医療 患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。

地域医療 いつでもだれでも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。

いのち、痛みに全力

福岡和白病院 広報誌
第49号 2021年11月発行



ホームページ
<https://www.f-wajirohp.jp/>



Facebook
<http://www.facebook.com/wajiro>



YouTube 福岡和白病院チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCG57CXLPAW0Z8g-xwVzQg>



医療連携医のご紹介

医療連携室だより

快適な生活を送るために大切な「足」を守ります。

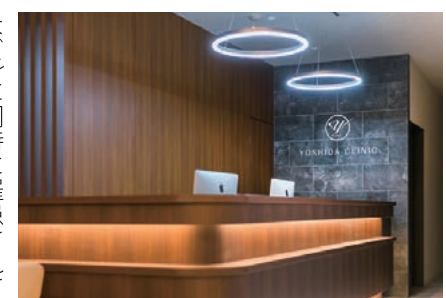
よしだ内科・外科・足クリニック



初めまして。福岡市東区千早で開業しました「よしだ内科・外科・足クリニック」の吉田と申します。当クリニックは千早駅から徒歩5分に位置する「ガーデンズ千早」の新しい施設内にございます。心臓血管外科医として培った経験を活かし、循環器内科全般、特に血管病変に関する予防・診断・治療を最も得意とするクリニックです。

心臓血管外科医として一般外科医として数多くの手術や外来・救急診療をしていく中で、患者様が循環器疾患だけでなく生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化）など）に同時に罹患されていることを数多く経験してきました。少子高齢化社会になりつつある日本において、これまでの病気に

なってきたことから、治療から命に関わる重大な疾患リスクを未然に予防すると同時に、免疫力を上げ病気にかかる前に健康寿命を延長する医療を患者様に提供していくことが大事であると考えています。



に至るまで「足の総合診療」に取り組んでいきます。地域の皆様の「全身の健康」と、快適な生活を送るために大切な「足」を守るためスタッフ一同で努力して参ります。

よしだ内科・外科・足クリニック

院長：吉田 尚平
診療科：内科・外科・足の加療・爪の加療
自費診療（アンチエイジング点滴など）
各種検診・予防接種
住所：福岡市東区千早 3 丁目 6-37
GARDENS CHIHAYA 2F
電話：092-692-5515
駐車場：完備

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	●	●	-	●	●	●	-
15:30~19:00	●	●	-	●	●	●	-

※●土曜は10:00~18:00までの診療になります。【休日】水曜日・日祝日



交通アクセス

福工大前駅 (JR) から徒歩15分
和白駅 (JR) から徒歩10分
和白丘バス停 (西鉄) から徒歩3分
和白駅 (西鉄) から徒歩10分
福岡空港から車で約30分



社会医療法人財団 池友会

福岡和白病院

〒811-0213 福岡市東区和白丘2-2-75 E-mail info@f-wajirohp.jp

TEL. 092-608-0001 (代)



災害拠点病院 開放型病院 地域医療支援病院
基幹型臨床研修指定病院 日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院

ダヴィンチ・ロボット支援下での
前立腺摘出術には、開腹手術に
比べ以下のような利点があります。

- ① 正確な切除
- ② よりよい神経温存機能が期待できる
(勃起機能のより早い回復・排尿機能のより高い回復率)
- ③ 出血の抑制
- ④ 合併症のリスク低減、傷口の感染リスクの低減
- ⑤ 入院期間の短縮
- ⑥ カテーテル留置期間の短縮
- ⑦ より早い回復と日常活動への復帰



Doctor Profile.

腎・泌尿器外科

部長 **吉田 毅**
出身大学：産業医科大学卒

資格

医学博士、日本泌尿器学会指導医・専門医、
日本内分泌学会内分泌代謝科（泌尿器科）専門医、
日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、
日本内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）、
Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon、
産業医、産業医学基本講座修了、
臨床研修指導医、緩和ケア研修会修了

コメント

腎・泌尿器外科では、2015年より腹腔鏡下前立腺全摘出術（LRP）を開始し、2021年までに100例実施しました。2021年腹腔鏡支援ロボット「da Vinci Xi」が導入されロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺摘出術（RALP）を開始しました。これにより近隣の開業医の先生方からのご紹介が更に増え、年内はRALPの予約が入らない状況となっております。
今年度、当院が地域がん診療連携拠点病院に認定されました。その使命を果たすためにもロボット支援手術の導入は避けては通れないものです。福岡市東部・近隣地域の腎・泌尿器の拠点病院として取り組んで参ります。今後根治的前立腺摘出術だけでなく、現在腹腔鏡で行っている腎部分切除、膀胱全摘出術、腎盂形成術にも順次ロボット支援手術を導入していく予定です。呼吸器外科・一般外科でも開始準備中で、更には池友会のグループ病院でも導入が検討されており、池友会の今後の更なる発展が期待されます。

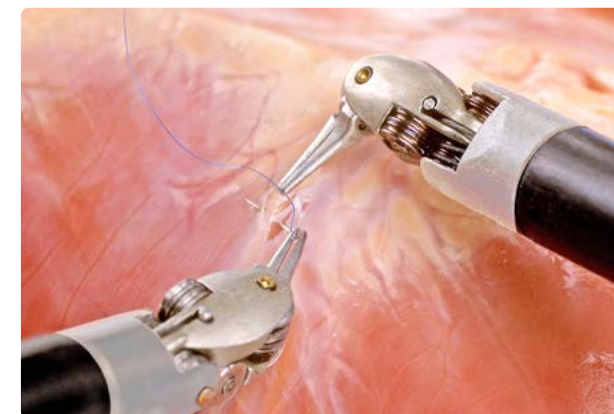
ダヴィンチ

ROBOT MINIMALLY INVASIVE SURGERY

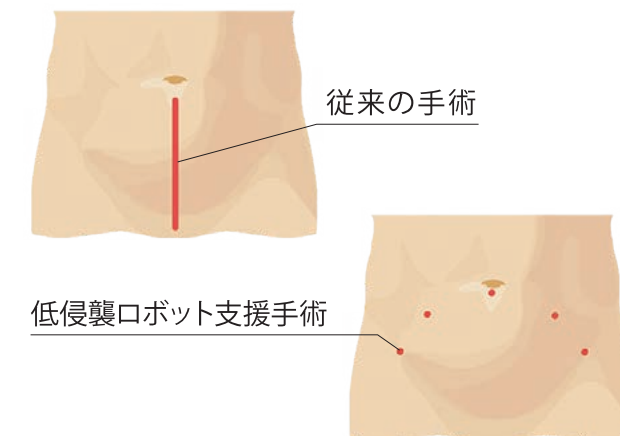
低侵襲ロボット支援手術とは？

低侵襲ロボット支援手術は患者様の負担が少ない腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、外科医の操作に従って内視鏡・鉗子を動かして行う内視鏡手術です。

「ダヴィンチ」は、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像と、人間の手の動きを正確に再現する装置です。こうした特長により、術者は鮮明な画像の下、精緻な手術を行うことができます。



傷の大きさ



低侵襲ロボット支援手術の特長

① 身体への負担が少ない

数カ所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく、出血も抑えられ、手術後の回復が早く、患者様の負担が軽減されます。

② 鮮明な3D画像

コンソールモニターには高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像が映し出されます。

③ 精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダヴィンチの鉗子はリスト構造を持ち、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えています。



乳がんで悩んだり苦しんだりしていませんか？
同じ病気を持った仲間が共に学び、
共に支え合い多くの方々との交流を深めていく会です。

定例会 年4回 開催予定
●乳腺専門医のお話 ●運動、食事、お薬、リンパ浮腫、下着などについて専門的な立場からのお話

サロン 月1回 開催予定
●お花見や日帰り温泉旅行、みかん狩り ●フラワーアレンジメント、ウィッグのお手入れ法 ●DVD勉強会など

福岡和白病院以外で治療されている方も多数参加されています。まずは見学から始めませんか？

患者会担当窓口:福岡和白病院 がん相談支援センター

地域連携クリティカルパスの活用

「地域連携クリティカルパス」(以下、地域連携パス)とは、地域のかかりつけ医療機関とがん診療連携拠点病院等が患者様の治療経過を共有し安全で質の高い診療を行うための診療計画書のことです。



当院でも地域連携パスを運用するためのツールとして福岡県統一で作成された「私のカルテ」という冊子を活用しています。

患者様ご自身が治療内容を確認出来る

- いつ、どこで、どのような診察や検査を受ければよいかわかります。
- 治療内容を理解し、目標達成に気持ちを向けることができます。
- 治療状況と病状把握がスケジュール管理として確認できて安心。
- 療養のために参考となるいろいろな知識や情報が載っています。



パスを使うことの利点

定期的な診察や検査などを行う「かかりつけ医」と手術や化学療法など「専門的な治療を行う病院の医師」が治療経過を共有。

- スムーズな連携により切れ目のない診療を行うことができます。
- 検査や薬などの重複を避けることができ、安全な治療を受けていただくことができます。

緩和ケア

以前は「緩和ケア」というと、がん終末期の方への最後のケアという意味で捉えられ、最後の治療やケアという誤解がありました。しかし、現在はがんと診断されたその時から緩和ケアは始まりま

す。痛みなどの身体や精神症状などの様々なつらさを緩和できるよう、患者様、ご家族へのお手伝いを行っていきます。

当院では症状緩和のために治療・ケアだけでなくリハビリテーションなども積極的に取り入れ、その人らしさを大切にし、生活のしやすさへの援助等を医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・栄養士・ソーシャルワーカーらの専門スタッフが協力をしてサポートさせていただきます。

＜当院のサポート体制＞

緩和ケア外来

緩和ケア専門の医師と看護師が、がん患者様の抱える症状の緩和に向けて対応いたします。
通院中の方へは、自宅療養における支援も行い、安心した療養環境が提供できるように在宅診療医との連携を図っていくことも可能です。

外来日:毎週水曜日

時間:13:30～16:00(要予約)

窓口:がん相談支援センター

緩和ケアチーム

緩和ケア外来とも連携を図り、入院中・外来の患者様が抱える身体・精神的な痛みと共に、日常生活においての悩みや不安、療養環境の調整などをご家族も含めたサポートを行います。
緩和ケアチームは担当医と連携をし、様々な医療スタッフが協力をし、活動を行っています。

いつでもご相談ください!

時間:9:00～16:00(月～土曜)

窓口:がん相談支援センター

がん相談 (がん相談支援センター)

患者様・ご家族だけでなく、がんと共に生活されている方、サポートをされている方、がんに関する情報などを知りたい方など、どなたでも利用することが可能です。相談は面談だけでなく、電話での対応を行っております。お気軽にご相談ください。

相談できる主な内容

- がん治療について ●療養上のこと ●治療費や生活費のこと
- セカンドオピニオンについて ●からだやこころのこと
- がんと就労のこと ●緩和ケアについて ●介護について など

対応時間:9:00～16:30(月～土曜) 相談料:無料
※面談につきましては、事前予約が優先となります。

セカンドオピニオン外来

最善と考えられる治療を患者様・ご家族が選択・判断するために、主治医以外の意見を聞くことは重要とされています。セカンドオピニオンでは現在の病状などから診断・治療方法に関する意見を提供頂いた資料をもとに、専門の医師から情報提供を受けることが目的です。そのため、基本的には新たな検査は行いません。

治療に関しても、セカンドオピニオン終了後に主治医の先生とご相談の上、改めて受診をしていただくことになります。

＜お知らせ＞



遺伝相談外来

遺伝子の検査を受ける目的や動機は、ひとりひとり違います。遺伝カウンセリングでは、遺伝性腫瘍に関する不安や悩みに対し、臨床遺伝専門医が相談に応じます。そして科学的根拠に基づく正確な医学的情報を分かりやすくお伝えし、理解していただけるようにお手伝いいたします。その上で、十分にお話をうかがいながら、医療技術や医学情報を利用して問題を解決して行けるよう、心理面や社会面も含めた支援を行います。

第2回

当院のがん診療について

前号に続き当院のがん治療の取り組みについて掲載いたします。

